

射水市立射北中学校活動報告書

JRC精神「気づき 考え 実行する」を意識した取組について

◆JRC 活動の取組状況

全校生徒が参加する回収・募金活動

- アルミ缶・ペットボトルキャップ回収（※ニコニコの日として毎月25日に回収）
- 一日一善の木（6月）、KKJ（気づき・考え・実行する）大作戦（11月）

JRC委員が中心となり、生徒が学校生活の中で、自ら気づき、考え、実行したことを付箋に書いたり、目標を掲げたりしました。アルミ缶・ペットボトルキャップ回収については、校内放送や掲示、登校時間に呼びかけをし、多くの生徒からの協力を得ました。



JRC委員・ボランティア部が中心となって進める活動

- 花壇苗植え・水やり（4月～11月）
- 高齢者介護施設行事飾り（通年）
～七夕・夏・ハロウィン・クリスマス・正月・ひな祭り～
- 高齢者介護施設宛て年賀状作成（1月）
- 高齢者介護施設宛てメッセージ作成・プレゼント（3月）

ボランティア部では、学校の環境を少しでもよくするために、花壇づくりやゴーヤカーテンづくり等に主体的に取り組みました。また、地道につくりあげた掲示物を利用者の皆さんに喜んでいただいたときは、大変嬉しかったです。



◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

【ボランティア部部長の声】



私たちはJRC精神に基づき、「気づき、考え、実行する」を胸に、地域や学校をより過ごしやすい場所にできるように活動を続けています。介護施設では、毎月季節の飾りをプレゼントし、利用者の皆様に喜んでいただきました。4カ国語で表記された外国の文化ポスターやおすすめスポットマップづくりでは、グループで制作したものを生徒玄関に貼り、全校生徒に役立てるようにしました。これからも私たちは、日々の小さな活動を大切にしながら、地域や学校のためにできることを実行していきます。一人一人が主体的に行動し、誰もが笑顔で過ごせる環境づくりに貢献していきたいです。

【JRC委員長の声】



私が特に力を入れたのは、「一日一善の木」です。「一日一善の木」とは、学校生活の中で自分が気づいたこと、考えたこと、実行したことを付箋に書き、生徒玄関前に掲示した大きな木の写真に貼るといったものです。この活動は、皆の力で射北中学校に毎日一つでもいいことが起こるといいなと思い、企画しました。だんだんと付箋の数が増え、1学期が終わる頃には木が満開になったように付箋が貼られていました。中には、「後輩が困っていたので、声を掛けて手伝った」「給食の時にみんなが座ろうと声をかけ合っていた」などの取組があり、JRC精神の広がりを感じられました。